

ポリテクカレッジ京都
部長室の解説コーナー

【第 79 回：舞鶴市民新聞連載「ものづくり研究室訪問」繁永 匠先生】2017 年 3 月 1 日

先生方を紹介する連載 12 回目は、繁永先生です(連載記事はこちら)。

得意な分野は、いずれも「NC」の付く旋盤／マシニングセンタ／放電加工機。

今後の活躍が期待される、若手のホープです。

次回はいよいよ最終回。川埜雅太郎先生をご紹介します。

能力開発部長 加藤 肇

ポリテクカレッジ京都

ものづくり研究室訪問

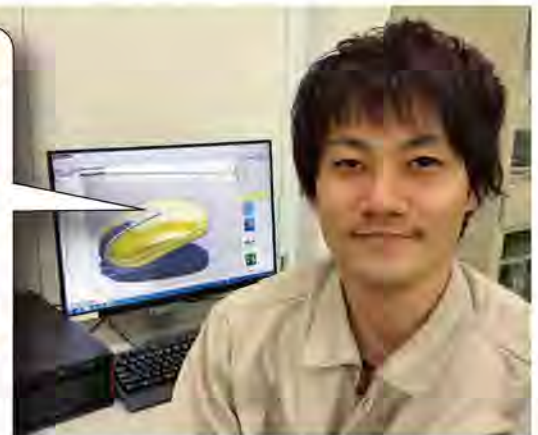
www.3.jeed.or.jp/kyoto/college
たくみ

生産技術科 繁永 匠先生

出身は熊本県。ポリテクセンター富山で5年間教鞭を執ったのち、当校には平成28年から勤務。専門分野は金属加工。汎用機械と呼ばれる旋盤・フライス盤を用いた「機械加工実習」や、コンピュータを用いた機械設計「3次元CAD・CAM実習」、設計データを基にNC旋盤・マシニングセンタ・NCワイヤ放電加工機で金属加工を行う「NC加工・放電実習」などが担当科目です。

主な取得資格は、一級技能士(普通旋盤作業、フライス盤作業)と第一種衛生管理者。

また、製造業に必須とされる基礎教育訓練の指導経験もあり、この分野の研究を続けています。



課題実習で使う3次元データを
確認している繁永先生



起動中のソフトは、ダッソー・システムズ・ソリッドワークス社の「SolidWorks 2014」です。

製造業の新人教育で協力したい

この連載も12回を迎え、いよいよ終盤です。今回は、繁永先生をご紹介します。

Q 舞鶴勤務も間もなく1年ですが、CADやNC(数値制御)加工の授業が多いようですね?

A 富山で離職者訓練や在職者訓練を担当していました。特に担当時間が長かったのがNC旋盤、次いでマシニングセンタとNCワイヤ放電加工機です。当然のことながら設計データが必要ですので、3次元CAD

Dなども教えます。当校に来てからも、すべて揃っていたので、難なく担当できたわけです。

Q 基本的な質問で恐縮ですが、3つの加工機の違いは何ですか?

A 簡単にいうと、NC旋盤とマシニングセンタは、それぞれコンピュータ制御の旋盤とフライス盤です。いずれも刃が金属を削ることに変わりはありません。

しかし、ワイヤ放電加工機は全く別物。電気も傷むので一定速度で加工の1つです。金属材料を水にひたして、細かいワイヤ線を接触させ、強い金属を高精度で加工できるため、金型の製造には不可欠です。

Q よくわかりました。当します。専門分野を最後に、読者の皆さん、問わず、製造業で仕事をしたいという心構えや、企業人としての基礎知識を指導できますので、ご要望があればお問合せください。